

## 26春闘行動

## 4. 9千代田総行動を実施

アメリカ、イスラエル、ロシアは無法な戦争を今すぐ止めろ！  
大幅賃上げ、消費税減税で物価高対策、最賃2000円、年金増額、医療・介護の崩壊阻止  
労働時間規制緩和反対、大軍拡・増税反対で暮らし、雇用、いのち、平和を守り  
連帯と労働組合の力で26春闘要求前進をめざす4. 9千代田総行動

### 区内 5 駅頭で早朝宣伝

### 総行動チラシなど1700枚配布

4月9日、千代田区春闘共闘は、26 春闘統一行動と連帯し、早朝から、「アメリカ、イスラエル、ロシアは無法な戦争を今すぐ止めろ！大幅賃上げ、消費税減税で物価高対策、最賃 2000 円、年金増額、医療・介護の崩壊阻止、労働時間規制緩和反対、大軍拡・増税反対で暮らし、雇用、いのち、平和を守り、連帯と労働組合の力で26春闘要求前進」を掲げて4. 9千代田総行動を実施しました。

朝 7 時半から 9 時過ぎの間で総行動チラシ(見出し:中小企業を支援し大幅賃上げを 大企業は内部留保を吐き出せ 最賃2000円、消費税減税、労働時間規制緩和反対、アメリカ、イスラエル、ロシアは無法な戦争止めろ！大軍拡・増税反対、26春闘要求の前進を)を神田駅、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅の区内 5 駅頭で19人が参加し、合計1700 枚を配布しました。早朝、天候に恵まれ、駅利用者にテッシュに入れたチラシを受け取ってもらいました。



霞が関での宣伝 千代田区労連の方々

### アメリカ大使館に抗議行動

10時から港区にあるアメリカ大使館に抗議しました。警察の厳重な警備で、抗議する場所がアメリカ大使館からかなり遠ざけられましたが、下記の内容をみんなで、大声で叫び、抗議しました。

「私たちは、戦争に反対し平和を求めている千代田区春闘共闘員会、千代田区内の労働組合です。

アメリカとイスラエルのイラン攻撃、戦争は、国際法違反で、侵略行為です。

イランの指導者や市民の殺害は戦争犯罪です。

無法な戦争のために、世界でも、日本でも市民が命と生活を壊されています。



アメリカ大使館への抗議(左側にアメリカ大使館)

トランプさん、ネタニヤフさん、無法な戦争を完全に止めてください。

法に基づいた世界秩序を壊すのは止めてください。

在日米軍基地から中東へ攻撃するな！

無法な戦争を完全に止めろ！  
日本政府は、アメリカ、イスラエルに攻撃の中止を求め、中東へ派兵するな！」

## 厚労省前で要請行動

12時15分からは、厚労省前で厚労省に向けて、大幅賃上げ、最賃引上げ、ケア労働者の賃金・労働条件改善などを求めて要請行動を行いました。この行動には、厚労省前の歩道に約450人が集まりました。

## 国会へ請願のデモ行進

13時15分から国会に向けて、請願のデモ行進を行いました。東京春闘共闘、官民共同行動、東京国公、千代田区春闘共闘などが参加しました。デモには、約400名が参加しました。

デモは、日比谷公園霞門を出発。官庁街を抜けて、首相官邸前を通り、国会へデモ行進しました。

議員面会所でシュプレヒコールをあげ、請願行動を行いました。



厚労省前で賃上げなどを訴える



日比谷公園霞門から出発するデモ隊

## イスラエル大使館に抗議行動

14時半からは、完全に戦争を止めろ！とイスラエル大使館に抗議行動を行いました。アメリカ大使館で読み上げた抗議文を再度読み上げ、抗議しました。日本母親大会、東京母親大会、全教の方々も参加しました。



イスラエル大使館(後方)に向けて戦争反対をアピール



参議院での請願行動

## 市ヶ谷駅頭 核兵器廃絶、軍拡、改憲、戦争反対で宣伝行動

15時10分からは、市ヶ谷駅頭で核兵器なくせ、軍拡、改憲、戦争反対で宣伝行動を行いました。

9名でアピールし、署名を訴えました。訴えは、下記の通りです。

「3月に日米首脳会談がおこなわれました。国連憲章・国際法違反のイラン攻撃をおこなったトランプ大統領に対し、同盟国から軍事協力を拒否する表明が相次ぐなか、高市首相は目を覆うほどアメリカの顔色をうかがい、抗議すらしませんでした。トランプ大統領は、日米首脳会談後、「日本には憲法上の制約があるが、必要とあれば支援してくれるだろう」と述べています。またアメリカの国連大使は、「日本の総理が海上自衛隊の支援を約束したばかりだ」と述べました。高市首相はアメリカに対し、どういう説明をしたのか、何を約束したのか、国民に明らかにするべきです。

世論調査では、イラン攻撃不支持が 82%にのぼるなど、国民の多くは「アメリカとイスラエルが始めた戦争に巻き込まれるのでは」と危機感をつのらせ、原油高騰によるさらなる物価高や日本経済への深刻な打撃に不安をつよめています。

こうした戦争が続く中で、核戦争の危機も深まっています。トランプ政権いいなりの日本ではなく、国連憲章じゅうりんを許さず、戦争放棄の憲法9条にもとづく平和外交、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に参加し、核兵器廃絶の先頭に立つ日本になる必要があるのではないのでしょうか。非核三原則も守っていきましょう。

日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める署名にご協力ください。

ここで、日本国憲法の第 25 条を読み上げます。「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」

みなさん、いま読み上げた、憲法 25 条に書かれているような、健康で文化的な最低限度の生活を送れていますか。国は憲法どおりの政治をしてくれているのでしょうか。高市政権は、憲法どおりの政治どころか、私たちの生活を見ることもなく、憲法を変えよう、変えようと前のめりになって進んでいます。2026 年度の国の予算案で、軍事費は過去最高の9兆円を超えています。高市政権は、巨額の軍事予算をまかなうために、アレルギー

の薬や痛み止めなど身近な薬であるOTC類似薬の負担増や、高額療養費の上限を引き上げるなど、医療費や社会保障費を削減しようとしています。

先の選挙で多くの国民が望んだ消費税の減税どころか、「防衛増税」導入の議論までしています。防衛費といわれる軍事予算の増額は、わたしたちのくらしや医療や教育にかかるお金を削ることとセットです。

憲法は、私たちの暮らしのすべてを支える土台です。日本の憲法は、国家と政府が暴走し 2 千万人もの日本とアジア太平洋の人びとの命を奪った深い戦争の反省から、戦争をしないこと、国の持ち主は私たちであることを基本として、国家権力から国民を守ることを目的につくられたものです。

私たちは、憲法を変えるのではなく、国民のくらしと人権、平和をまもると宣言した日本国憲法にもとづく政治を願っています。なのになぜ、高市政権は軍事費をどんどん増やし、他国を攻撃するミサイルを配備し、殺傷武器を輸出できるようにし、市民の口をふさいで侵略戦争へ突き進んだ治安維持法によく似たスパイ防止法を作ろうとしているのでしょうか。さらに「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」とした非核三原則の見直しまでおこなおうとしています。そして国会では、憲法を変えるための動きが進められています。

日本は戦後 80 年間、他国の人間を殺したり、殺されたりすることがありませんでした。これは、戦争を放棄すると謳った憲法 9 条があったからです。憲法 9 条が、自衛隊の海外派遣にブレーキをかけているのです。戦争をしたい人なんていないはずです。

私たちは憲法 9 条を生かし、力の支配ではなく、対話での平和解決を求める国際社会の先頭に立ちましょう。憲法を変えることで、国民の権利を奪い、戦争する国になりたくありません。憲法をまもりいかすため、ご一緒に声をあげましょう。

平和で、声が大切にされ、安心して暮らせる社会を望むみなさんの力で、「戦争する国づくり」を止めましょう。憲法 9 条を生かす道へ、進みましょう。

憲法を守りいかす署名、わたしたちが 4 月からあたらしく始めた憲法の改悪、憲法9条を変えることに反対する署名にぜひ、ご協力ください。」

## 総行動全体で延べ約1000人が参加

今回の総行動は、春闘共闘のビッグアクション行動、官民共同行動などとも連動し、全体では、延べ約1000人が行動参加しました。千代田区春闘共闘としては、2100枚のチラシを配布し、延べ88人が行動しました。

(編集：千代田区労協事務局長 小林秀治)

※ 皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

※ 千代田区労協通信バックナンバー／[http://www.chyda-kr.org/kuroukyou\\_news2023.htm](http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm)